

# 伶楽舎第十六回雅楽演奏会 REIGAKUSHA Gagaku Concert

管絃 <sup>たいしきちょうのねとり</sup> 太食調音取 <sup>せんゆうが</sup> 仙遊霞 <sup>がつかえん</sup> 合歡塩

舞楽 <sup>しゅんでいか</sup> 春庭花

桑原ゆう作曲 <sup>うたそらごと</sup> 歌虚言の場 <sup>にわ</sup> (委嘱初演)

中川俊郎作曲 <sup>てんもんらく</sup> 天門楽 (改訂初演)

Kangen "Taishikicho no netori, Sen'yuga, Gakkaen"  
Bugaku "Shundeika"

"Utasoragoto no Niwa" composed by Yu Kuwabara  
(commissioned work premiere)

"Tenmonraku" composed by Toshio Nakagawa  
(premiere of revised version)



# 伶 倫 楽 遊

2023 1 | 28 (土)

14:00開演 (13:15開場)

14:00, Saturday, 28th January 2023 at Kioi Hall

入場料(全席指定) S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円



紀尾井ホール

助成

公益財団法人 日本製鉄文化財団

NOMURA 野村財団

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

企画・主催：伶楽舎





伶楽舎雅楽コンサートno.39 (2022.5.24中野ゼロホール)より

伶楽舎では、結成当初から、雅楽の古典作品以外に現代作品や復元曲など、いろいろな雅楽作品のより良い演奏を目標に活動を続けてきました。第16回目の雅楽演奏会も伶楽舎ならではの構成で、前半では雅楽の古典曲から管絃と舞楽、後半は現代作品二曲をお届けします。第一部の管絃は太食調「仙遊霞」と「合歓塩」、どちらも親しみやすい佳品です。舞楽「春庭花」は、蛸絵装束に太刀を佩き、冠には挿頭花を着けて舞う華やかな平舞です。曲の後半で四人の舞人が回りながら花の開閉を思わせる舞ぶりを見せるのが特徴で、楽曲は春の調子とされる双調の、いかにも明るい響きの名作です。

第二部では、まず、今回の委嘱作品、桑原ゆう作曲「歌虚言の場」(うたそらごとのにわ)(管絃11人編成)を初演致します。日本の声や言葉をテーマにした作品をいくつも書かれている桑原氏からこの作品について、「唱歌とは、楽器を奏する以前に、音の動きと奏法の情報とを声に出して歌うこと。その仕組みを反転し、詩のことばやオノマトペは唱歌になりえるか、それで音楽をつくれるかを問う作品。」とのコメントを頂いており、一同、新しい作品を楽しみにしております。

最後は中川俊郎作曲「天門楽」(2006年)です。管絃16人編成のこの作品、今回改訂版を作って頂くことが叶いました。中川氏ならではの自由な発想で、図形楽譜や即興的な要素も含み、「どこか懐かしくもある、新しい雅楽の調べ」とこの作品、初演時にも高い評価を頂きましたが、今回の改作によって、天の門がさらに大きく開くことと存じます。二つの現代作品に、どうぞご期待ください。

紀尾井ホールで、贅沢な雅楽の響きをたっぷりとお楽しみください。

## 伶楽舎 REIGAKUSHA

1985年に発足した雅楽演奏団体。芝祐靖が創立し、長らく音楽監督をつとめた。現音楽監督・宮田まゆみ。現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲や正倉院復元楽器、現代作品の演奏等、幅広い活動を展開。国内各地の他、米国、欧州諸都市で公演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。2017年佐治敬三賞受賞。2020年第50回ENEOS音楽賞邦楽部門受賞。他に解説を入れた親しみやすいコンサート、体験型のワークショップや学校での公演なども多く行っている。定期公演の他、近年では「芝祐靖の世界～ライブ配信で楽しむ代表作～」<音のVR>で新日本フィルとの共演(以上2020年)、「残影の庭」(秋庭歌一具)での金森穂・Noism0とのコラボレーション、「伶楽舎×森山開次 雅楽で舞う、雅楽で踊る」(以上2021年)など意欲的な公演を行っており、2022年12月には「宮廷音楽の祭典～雅楽と琉球芸能の邂逅～」と題して沖縄での初の自主公演を企画、雅楽古典曲の他、伊左治直作曲「紫御殿物語」(改訂初演)で琉球舞踊の宮城茂雄との共演を予定している。

伊崎善之、石川高、岩嶋裕子、北村茉莉子、國本淑恵、小林勝幸、五月女愛、笹本武志、〆野護元、鈴木絵理、田口和美、武智和子、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田眞美、東野珠実、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、村岡健一郎、八百谷啓、八木千咲、荒川明英、中村かほる



### 桑原ゆう(くわばら・ゆう)

1984年生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。国立劇場、静岡音楽館AOI、神奈川県立音楽堂、みなとみらいホール、神奈川県民ホール、箕面市立メイプルホール、ルツェルン音楽祭、インターナショナル・アンサンブルモデルン・アカデミー(フランクフルト)、I&I Foundation(チューリヒ)、ZeitRäume(バーゼル)、Mizzou International Composers Festival(ミズーリ州)等、国内外で多くの委嘱を受け、世界各地の音楽祭や企画等で作品が取り上げられている。声明、神楽、民俗儀礼等の取材を重ね、日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを軸に創作を展開。楽譜はEdition Gravis、Edition Wunn(共にドイツ)より出版されている。「淡座」メンバー。現在、国立音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。2021年、第31回芥川也寸志サントリイ作曲賞受賞。  
<https://3shimai.com/yu/>

### 中川俊郎(なかがわ・としお)

作曲家、ピアニスト。1958年東京生まれ。桐朋学園大学作曲科卒業。作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安耀子各氏に師事。武満徹主宰<Music Today '82>国際作曲コンクール第1位。1988年村松賞、2009年、サントリー芸術財団主催で「作曲家の個展2009、中川俊郎」が開催され、その成果に対して、第28回中島健蔵音楽賞受賞。他にCM音楽界において「ACC賞」等多数受賞。東芝EMIから、自作のサントリー「烏龍茶CM曲シリーズ」を収録したCD「chai」、「cocoloni utao」などを、またフォンテックからCD管絃楽作品選集「沈黙の起源」(2017年3月)、299 MUSIC からピアノ作品集「メッセージ / 佐藤祐介 × 中川俊郎」(2018年10月)をリリース。現在、日本現代音楽協会理事、日本作曲家協議会常務理事、深新會副代表、お茶の水女子大学非常勤講師。



チケット取扱い <チケット発売開始>10月28日(金)

- 東京コンサーツ  
オンラインチケットサービス <http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>  
電話予約(カンフェティチケットセンター)  
Tel:0120-240-540 (平日10時~18時オペレーター対応)
- e+(イープラス) <http://eee.eplus.co.jp>

お問合せ

- 伶楽舎 [info@reigakusha.com](mailto:info@reigakusha.com)
- 東京コンサーツ Tel:03-3200-9755 (平日11:00~16:00/土日祝休)

\*ご来場の際は、新型コロナウイルス感染拡大予防策へのご理解、ご協力をお願いいたします。



### 紀尾井ホール

- 【最寄駅】
- ・四谷駅 麹町口 (JR線・丸ノ内線・南北線) 徒歩6分
  - ・麹町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
  - ・赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸ノ内線) 徒歩8分
  - ・永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分



一般社団法人 伶楽舎

〒160-0012  
新宿区南元町19-2千日谷会堂内  
tel&fax:03-5269-2011  
<http://www.reigakusha.com>